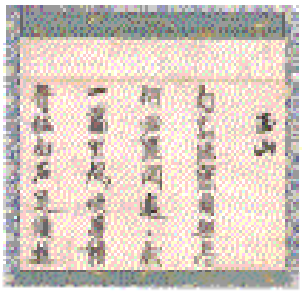
開山玉山禅師真筆　一幅

【所　在　地】志布志市志布志町志布志２－１－19　大慈寺
【種　　別】県指定有形文化財（書跡）
【指定年月日】昭和 28 年９月７日


（上段）

（下段）

宋の天童山静慧禅師が，大慈寺の開山（創立者）玉山玄提に授けた「印可」（師僧が弟子の悟りを証明すること）とともに別離にあたって静慧禅師が贈った「送行」（行脚に出る僧を見送ること）の写しで，玉山自身の筆になるものと伝えられている。

紙は中国の蠟箋で，すかしのような紋様がすきこまれており，特に珍重すべきものがある。本紙の大きさは縦 28cm，横 31cm。

後世，印可を上段に，送行を下段にして一つの掛軸に仕立ててある。